

平成 27 年 12 月 16 日

日本理科教育学会
会員の皆様

平成 27 年度理科教育国際セミナー(報告)

前略 大変失礼いたします。

会員の皆様に於かれましては、ご健勝のことと存じ上げます。

さて、本年度は本学会国際交流委員会と本学会中国支部の主催により、下記の通り国際招待講演を開催しました。

師走の忙しい中、中国支部に限らず、東海支部や九州支部の会員の方、約 70 名の参会を得て盛会のうちに講演会を開催することができました。この場をお借りして、報告と御礼を申し上げます。

当日のご講演の発表資料を、お二人の先生方のご了解を得て pdf にし、国際交流委員会の HP に掲載しておりますのでご参照ください。なお、この国際招待講演に先立ちまして、広島大学学習システム促進研究センター(RIDLS)主催による外国人招聘セミナーを開催し、お二人の先生にご講演頂きました。国際交流委員会 HP には、RIDLS の許可を得て、この 2 回の講演資料をまとめて掲載(閲覧用)しておりますことを申し添えておきます。そのため、発表用スライドのタイトルは、RIDLS の講演用になっております。

草々

記

国際招待講演： 理科カリキュラムの国際的動向

日時： 平成 27 年 12 月 12 日(土) 13:00～14:30

場所： 広島大学大学院教育学研究科

講師・演題： イギリスの事例(The national curriculum and assessment system in England:

Progress and prospects) by Professor Justin Dillon: University of Bristol

韓国の事例(Issues of 2015 national curriculum in Korea: with focuses on assessment, textbooks, and teacher education) by

Professor Jinwoong Song: Seoul National University

主催： 日本理科教育学会中国支部・日本理科教育学会国際交流委員会

共催： 学習システム促進研究センター・次世代科学教育プロジェクト研究センター

以上

問い合わせ先

日本理科教育学会国際交流委員会委員長・同中国支部長

広島大学大学院教育学研究科 磯崎哲夫

082-424-6812(直通)